

Joho System linkai

情報通

2015. November 11月号

発行：東京税理士会 情報システム委員会

題字：神津 信一 (四谷)

(税理士会員章の日輪と八重桜をイメージしています。)

税理士情報フォーラム2015を開催しました



10月13日(火)、本会会館で「税理士情報フォーラム2015」が開催されました。今年度は、10月5日のマイナンバー法施行に合わせて「マイナンバーと情報セキュリティ」をテーマとしました。

当日は本会会員だけでなく、他の税理士会からもお越しいただき、基調講演、ミニセミナー、また地下会場では『マイナンバー関連ソリューション展示会』と銘打った全17企業による情報セキュリティサービスの展示等が行われ、活況を呈しました。

ご来場いただきました会員の皆様、誠にありがとうございました。以下、その概要を報告します。

また、本会HP内「税理士のためのIT講座」ページでも後日開催報告を掲載する予定ですので、ぜひ併せてご覧下さい。

◆基調講演①『スマートフォンを取り巻く脅威とその対策』



独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) 情報本部セキュリティセンター調査役 加賀谷伸一郎氏に、いまや携帯パソコンともいえるスマートフォンをいかに不正アプリ等から守るか、乗っ取られた場合の実験も交えながらセキュリティについての対策をご講演頂きました。

◆基調講演②『企業を狙うサイバー犯罪等の現状と対策について』



警視庁生活安全部サイバー犯罪対策課対策係主任 林秀人氏から実際にサイバー犯罪の被害にあった事件を題材に「セキュリティ対策は余計な費用を生まないための投資」であるとお話を頂き中小企業も決して例外ではないと実感しました。

◆ミニセミナー『マイナンバー関連の税理士業務における情報セキュリティ対策の具体的対応』



菅沼情報システム委員会委員を講師とし、実際に税理士事務所がマイナンバー制度に対しどう取り組み(基本方針、取扱規定の策定)、またどうセキュリティ対策を立て(4つの安全管理措置)実践するのかを具体例を挙げながら講演を行いました。

◆『マイナンバー制度に関する情報セキュリティについてのQ&A』



浅見情報システム委員会副委員長を座長とし、坂本委員長ほか4名の情報システム委員により、事前に募集した会員からの質問に対する回答・解説を行いました。質問と回答は後日、本会ホームページ内にあります「税理士のためのIT講座」ページで公開予定です。

■『マイナンバー関連ソリューション展示会』(地下会場)



出展企業17社のブースを設け、自社のサービスをご紹介いただきました。また、プレゼンテーションブースを設置し、各社で提供しているマイナンバー関連サービスの説明を5分間で行っていただき、その模様を撮影しました。同映像については、後日、本会HPで公開予定です。

■番外編(昼休みの支部情報システム委員会との打ち合わせ)

昼休みの時間を利用して、支部情報システム委員会の皆様と打ち合わせを行いました。多数ご意見をいただきありがとうございました。今後の運営にぜひ活かしていきたいと思っております。

パソコンとサーバーの履歴監視 - ウイルス対策だけで済む時代は終わりました -

情報システム委員会委員 杉山 靖彦

マイナンバーの導入に伴って、情報に対する作成、追加、削除、修正、閲覧という履歴の記録が求められるようになりました。これらは非常に煩雑な作業であり、特に複数人がパソコンを使って情報にアクセスする場合は、とても手作業では管理できるものではありません。

そのため、従業員などが操作をするパソコンでは、いつ、誰が、どのソフトウェアを使って、どの情報にアクセスし、どのような操作をしたのかという履歴を自動的に記録するソフトウェアがあります。

一方、サーバー側にも外部からの不正アクセスに備えて、いつ、誰が、どのような経路で、どの情報に対してアクセスしたのかという履歴を自動的に記録するソフトウェアがあります。

これらのソフトウェアはアクセスログ(履歴)監視ソフトと言って、パソコン版もサーバー版も無償のソフトウェアも存在しますが、万が一にも情報漏洩が発生した場合は、その経路を特定するためにも重要な役割を担うソフトウェアとなるため、有償版の導入をお勧めします。

これからの時代、どんなにセキュリティレベルを高めたとしても絶対大丈夫ということはなく、残念ながら破られる時は破られますし、漏洩する時は漏洩してしまいます。その時に重要になるのが、どのよ

うなセキュリティ対策を講じていたかということと同時に、被害を拡大させないため、説明責任を果たすためにも、どのような経路で情報が漏洩したかを特定できるか否かという点が重要となります。

筆者はパソコン用として、L社のソフトウェアを利用し、ログファイルをサーバーに一元的に置くようにしています。

またサーバー用としては、少し操作が難解ではありますがWindows Serverにユーザーアクセスログ(UAL)という機能が標準で搭載されているため、その補助的な意味合いで、アクセスログ監視ソフトウェアを利用しています。こちらは個人使用に限り一部機能制限をされた無償版が存在しますが、商業利用の場合にはフル機能の有償版も存在しますので、有償版をお勧めします。

他にも、各社からセキュリティ対策のためのシステムやソフトウェアがリリースされていますので、規模や予算に応じて差はあると思いますが、対策を講じないという選択肢は既にはないかと思っております。

ウイルス対策ソフトさえ導入しておけば大丈夫という時代は終わりました。これを機会に、是非ともアクセスログ監視ソフトの導入の検討もしてみてください。